

## 1. 投稿者の資格

一般社団法人日本感染管理ネットワーク(ICNJ)への投稿資格を持つ者は、一般社団法人日本感染管理ネットワーク会員に限る。ただし、共著者および ICNJ から依頼された原稿についてはこの限りではない。

## 2. 投稿論文の種類と定義

掲載する投稿論文の種類は、原著、実践報告、総説、資料である。感染管理の向上に寄与するものであるとともに、他の出版物にすでに発表あるいは投稿されていないものに限る。

- 1) 原著：独創的で新しい知見や発見を論理的に述べた論文であり、感染管理分野の発展に寄与すると認められるもの。
- 2) 実践報告：ICNとしての事例への関わり、実践の中で、根拠に基づいた新規性、独自性のある実践報告であり、実践過程と成果が論理的に導かれ記載されているもの。実践の発表を行うことにより、ICNの活動の向上・発展が見込めるものとする。
- 3) 総説：ある特定のテーマに関して、多面的に内外の知見を広く概観したもの。あるいは、最近の学問的発展・問題点を中心に解説し考察したものとする。
- 4) 資料：ICNの活動等の有用な調査で、資料的価値が高く、ICNJの発展に寄与すると認められるもの。

## 3. 倫理的配慮

- 1) 人を対象とする研究に関しては、対象者の人権が守られるように最大限の配慮をし、その旨が本文中に明記されていること。
- 2) 投稿者が所属する施設の倫理委員会の承認を得ていることを、承認番号とともに本文中に明記すること。

## 4. 謝辞（あるいは助成等）

当該研究の遂行に関して受けた研究助成がある場合には、論文の末尾（文献の前）に「謝辞」の欄を設け、助成機関名とその旨を記載する。著者以外で当該研究や論文作成に貢献した者がいる場合には、「謝辞」の欄に貢献内容を記して謝意を述べる。

## 5. 利益相反

「謝辞」の欄の次に「利益相反」の欄を設け、当該研究の遂行や論文作成における利益相反の有無を記載する（利益相反となるような経済的支援を受けた場合には、その旨を記載する。利益相反がない場合には、「利益相反なし」と記載する。）例）・報告すべき利益相反はない。・本研究は〇〇〇の資金提供を受けた。・〇〇〇の検討にあたっては、〇〇〇から測定装置の提供を受けた。

## 6. 投稿論文執筆の要領

- 1) 書式は、和文原稿とし A4 版横書きで、1 行の文字数を 40 字、1 頁の行数を 30 行（約 1,200 字）とする。文書作成ソフトとして Microsoft Word を推奨し、保存形式も Microsoft Word の使用を推奨する。
- 1) 本文及び図表を含めすべて電子データ形式とする。

- 2) 本文及び図表,文献を含め,16,000 字以内とする.
- 3) フォントは, 和文は MS 明朝,英文は Times New Roman とする.半角英数字は 2 字を文字数制限における 1 字に換算する.図表はその大きさによって,1/4 頁で 500 字,1/2 頁で 1,000 字,1 頁で 2,000 字と換算する.
- 4) 表題,著者名,所属機関名は,日本語で表記する.
- 5) 500 字から 600 字の和文要約を付し,さらに 5 語前後のキーワードを付す.和文要約では,半角英数字は 2 字を文字数制限における 1 字に換算する.
- 6) 原稿は,はじめに,目的,方法,結果,考察,結論(実践報告については,実践の背景,目的,内容と結果,考察,今後への示唆)などがわかるように記載する.
- 7) 章,項目の番号について,各章の表題は, I, II, III のようにローマ数字による番号付けをし,章中の項目は 1, 2, 3 のようにアラビア数字を用いる.項目以下には 1) 2) 3) を用いる.アラビア数字や外国語の文字は原則として半角とする.
- 8) 文章は,新仮名づかいを用い,句読点,括弧などは全角とする.外国語は活字体を使用し,アルファベットは半角とする.
- 10) 人名,地名などは,原則として原語を用いる.外来語はカタカナを用いる.文字やイタリック体などの特殊字体を用いる場合は,判別可能なように表記する.
- 11) 略語は,初出のときに正式名称のあとに括弧書きで記入する.  
図の記載については,グラフ等の場合,縦軸,横軸の名称や,縦軸の数値の単位など必要な情報を記入する.通し番号(図 1,図 2 等の)やタイトル,キャプションを図の下に記載する.
- 12) 表の記載については罫線の使用は,必要なものだけに限定し,できるだけ垂直罫線は使用せず,水平罫線のみを使用する.表の作成は,Microsoft Excel の使用が望ましい.表中の数値の表示は,小数点以下の桁数をそろえる.また, 小数点の位置を縦方向でそろえる.通し番号,タイトル,キャプションを表の上に記載する.
- 13) 写真は図の記載に準ずる. JPEG 形式か Microsoft Powerpoint に貼り付ける.
- 14) 査読のために行番号を 1 頁からの連続番号で表記する.
- 15) 図, 表, 写真は本文とは別に添付して提出する.
- 16) 文献
  - (1) 本文中に文献を引用する場合は, その箇所の右肩に 1) や 1.2.9-12) などと示す. 文章の切れ目につける場合は,カンマ,ピリオドの直前の右肩に記す.
  - (2) 引用した文献をまとめて文献一覧を作成し, 本文末尾に記載する. 文献一覧は 1) 2)・・・と順に通し番号を付して引用順に並べる. 未発表の論文は文献リストに含めない.
  - (3) 文献の著者名は, 著者が 3 名以内の場合は全員の名前を記載し, 4 名以上のときは 3 名まで記載し残りは〔ら〕,または〔et al.〕とする.著者間は英文も & を入れずにカンマで区切る.
  - (4) 雑誌の論文表題, 書籍の表題は, 最初の文字のみ大文字とする. 書籍名, 雑誌名は冠詞, 接続詞, 前置詞を除いて各語の初字を大文字で書く. その場合, 一番初めの語の最初の文字は, 冠詞, 接続詞, 前置詞であっても 必ず大文字とする.
  - (5) 文献の記載方法は,文献の記載例に従う. なお文献一覧中の「,」「.」「;」「:」「-」などの記号は日本語文献の場合も半角を使用する.

- ① 雑誌の場合 著者名. 論文表題. 雑誌名 発行年; 巻(号): ページ数. 但し, 「巻」の通しページの場合は「(号)」の表示は必要ない.
  - ・和雑誌は正式名称を記載する. 洋雑誌の場合, 略称を使用するときは, Index Medicus に従う.
- ② 書籍の場合 著者名 (訳者名). 表題. 書籍名. 出版地: 出版社, 発行年: ページ ・訳本の場合は著者名と訳者名の両方 を記載し, 著者名は訳本の記載に従う. 訳者名は著者名の後の ( ) に〔訳〕〔tr.〕を付して書く. 編者名は〔編〕〔ed.〕を付して, 著者名の位置に書く. 版次, 巻次がある場合には, 書籍名の次に「.」で区切って記載する. 出版年はその版次の初刷の出版年を書く.
- ③ インターネット上の文献の場合, 著者名. 記述された年. (不詳の場合は省略) 題目. URL 参照年月日.
- ④ 電子化された資料の場合, 電子書籍, 電子ジャーナルからの場合は, 印刷媒体と同様の書誌情報に加え, その電子書籍を閲覧した際に用いた媒体の種類, またはインターネット利用の場合は, URL と参照年月日を記載する.

#### 文献の記載例

- 1) Lee HW, Koh YM, Kim J et al. Capacity of multidrug-resistant clinical isolates of *Acinetobacter baumannii* to form biofilm and adhere to epithelial cell surfaces. Clin Microbiol Infect 2008; 14: 49–54.
- 2) 池田俊也, 北里博仁, 野田光彦ら. 薬剤経済学研究に関する最近の話題: 医療データベースの薬剤経済評価への応用. 臨床薬理 2010 ; 41(6):281-286
- 3) 厚生労働省. 医療機関等における院内感染対策について. 医政指発0617第1号. 平成23年6月17日. <http://www.pref.nara.jp/secure/98567/h230617kansentaisaku.pdf> 2015年2月14日
- 17) 注を使用する場合は必要最小限にとどめ, 脚注にせずに本文中の必要箇所の右肩に注 1 などと示し, 一覧は文末に注 1 注 2・・・と, 通し番号を付して掲載する.
- 18) 原稿には用紙の下端中央にページを記入する.

#### 7. 投稿手続き

原稿一式は, 投稿時チェックリスト, 誓約書および同意書とともに指定のメールアドレスまでテキストファイルを送付すること. なお, 投稿に必要な書類一式は, ICNJ のホームページよりダウンロード可能である. 添付ファイルの容量が大きくメールで送信することができない場合は, ファイル転送サービス等を利用すること.

#### 8. 投稿原稿の査読および再投稿

- 1) 原稿の到着日を受付日とする.
- 2) ICNJ の編集査読委員が, 査読を行い, 査読結果を著者に通知する.
- 3) 著者は, 査読を受けて再投稿する場合には, 指摘された事項について, 査読意見に関する著者回答内容を別紙に記入し, 指定のメールアドレスまで送付する.

#### 9. 著者校正

著者校正は原則として1回とする. 但し, 校正の際の加筆は原則として認めない.

#### 10. 著作権の帰属

掲載された論文の著作権は,本学会に帰属する.投稿者は,投稿内容が受理された場合,掲載内容がインターネット上で公開されることについて了解しているものとする.

附則

この規程は,令和5年6月3日から施行する.

日本感染管理ネットワーク学会

【事務局】〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター

E-mail icnj-edit[at]je.bunken.co.jp ([at]を@に変えてください)